



(事務連絡)  
令和2年2月14日

各地区倉庫協会 事務局長 様

一般社団法人 日本倉庫協会  
総務部長 嶋崎 真理

「働き方・休み方改善ポータルサイト」リーフレットの送付について

掲題の件、厚生労働省では、委託事業として「働き方・休み方改善ポータルサイト」(<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>)の運営を行っています。

「働き方・休み方改善ポータルサイト」では、「働き方・休み方改善指標」による企業及び社員の自己診断ができるほか、企業の取組事例の紹介、シンポジウムやセミナー情報の提供など、企業及び社員の働き方・休み方改善に役立つ情報を提供しています。

今般、厚生労働省雇用環境・均等局職業生活両立課から、ポータルサイトの利用方法等をまとめたリーフレットが届きましたので、別添のとおり送付いたします。内容は、ポータルサイトの「参考資料コーナー」([https://work-holiday.mhlw.go.jp/material/pdf/category1/200110\\_1.pdf](https://work-holiday.mhlw.go.jp/material/pdf/category1/200110_1.pdf))にも掲載されております。つきましては、貴協会会員事業者に対し、ご周知方ご協力いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

以 上

# 働き方・休み方改善 ポータルサイトを活用して 働き方・休み方改革 に取り組んでみませんか？

診断機能を  
リニューアル  
しました

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

働き方・休み方

検索

スマートフォンにも対応



**働き方・休み方改善ポータルサイト**

Google カスタム検索

トップ 概要 自己診断 事例検索 課題別の対策 施策・支援策 労働者の休み方等 各地域の取組 セミナー情報 参考資料

実態把握 + 経営トップの判断 = 働き方・休み方改善

ユーザー登録をされている方はこちら

働き方・休み方の改善に当たっては、企業の実態を踏まえた上で、経営トップが見直しなどの判断をしていくことが重要です。働き方・休み方改善ポータルサイトでは、下記のアイコンから、企業・社員の方が「働き方・休み方改善指標」を活用して自己診断をしたり、企業の取組事例を確認することができます。また、仕事の進め方など課題別の対策や、シンポジウムなどの日程も確認できます。

企業・社員向け自己診断をしたい	企業の（働き方改善）取組事例を検索したい	ボランティア休暇等特別な休暇制度を知りたい	企業の特別な休暇制度事例を検索したい
企業のゆう活の取組事例を知りたい	労働者の休み方に着目した取組等を知りたい	シンポジウム・セミナー情報を知りたい	仕事の進め方など課題別の対策を知りたい
制度・支援策を知りたい	各地域の取組を知りたい	事例集やパンフレットを知りたい	取組を掲載したい
疑問を解決したい	問い合わせをしたい		

働き方・休み方改善指標による企業の自己診断ができます  
また、自社の社員の働き方・休み方を診断し、現状を認識することができます

ゆう活の取組を実施している企業の事例を見ることができます

働き方・休み方改革を進めるための支援策に関する情報を掲載しています

企業の取組事例について、業種別、規模別等に検索できます

労働者の休み方に着目した取組等について知ることができます

事例集やパンフレットを掲載しています

## 働き方・休み方改善指標を用いた診断をリニューアルしました！

これまで多くの企業の方に利用されてきた働き方・休み方診断指標を、この度企業向け、社員向けのいずれについてもリニューアルし、新しい機能を追加しました。

企業向けの指標を活用して、診断を行っていただくと、企業として優先的に行うべき取組提案が示されますので、自社の課題や取組内容を分析・検討する際の参考としてください。また、社員向けの指標は、社員が自身の働き方・休み方を自己診断するために活用いただくほか、社員を対象とした診断機能により、社員の職場環境に対する認識や、日頃の仕事の進め方等を把握し、職場において改善が必要な取組を検討する際にも活用することができます。

また、本ポータルサイトでは、診断機能以外にも、複数企業の働き方・休み方に関する事例掲載（様々な検索機能あり）やゆう活、勤務間インターバル制度などの導入事例も掲載しています。ぜひご活用ください。

# 働き方・休み方に関する診断をしてみましょう

## 1. 企業向け診断

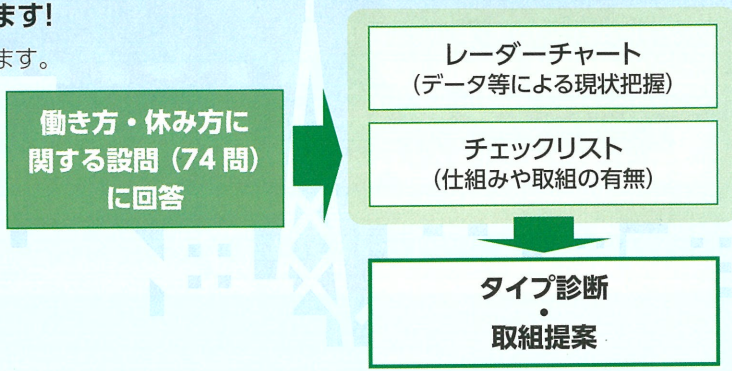
「働き方・休み方改善指標」を活用して、自社の働き方・休み方について診断してみませんか。

自社の現状把握や取組状況をチェックすることができます！

「企業向け」は、人事労務担当者が入力することを想定しています。

診断は、「レーダーチャート」、「チェックリスト」と「タイプ診断」の3つで構成されています。企業全体だけでなく、特定の部署や職場を対象に診断を行うことも可能です。

個々の企業に対して、タイプ診断等の結果に基づき、優先的に行うべき取組が提案されます。



### レーダーチャート

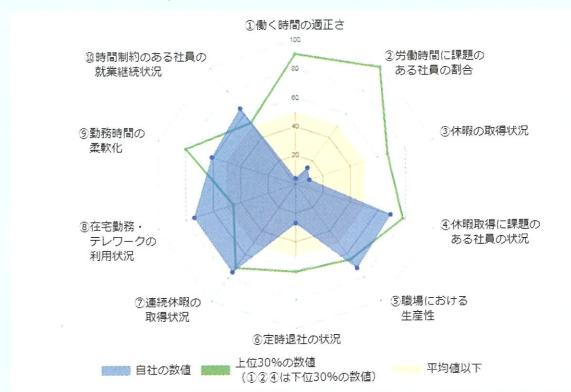
「レーダーチャート」を活用して、働き方・休み方に関する自社の現状把握を行いましょ。

生産性の高い、メリハリのある働き方・休み方が実現できているか、柔軟な働き方や時間制約のある社員の活躍は可能かなど、多様な働き方・休み方が可能かどうかをあわせて確認し、多様な人材が活躍できる職場環境となっているかという観点から、チェックしてみましょう。

10の指標について自社の数値やあてはまる項目を記入すると、レーダーチャート上に入力結果が青色で示されます。

※ レーダーチャートの黄色の部分、は、本事業の一環で実施した企業アンケート調査の平均値以下を、緑の線は、同アンケート調査において、各項目の上位30%の値を示しています。

〈レーダーチャート 表示例〉



### チェックリスト

「チェックリスト」を活用して、働き方・休み方改善に関する自社の方針・目標、制度や取組、実態把握などの状況を確認しましょう。

「チェックリスト」は8つの項目を、4つの段階に体系化したものとなっています。

〈チェックリストに対する取組状況 表示例〉

項目	取組状況
Vision (ビジョン)	項目1 <方針・目標の明確化> 33.3% (得点: 1/満点: 3)
	項目2 <改善推進の体制づくり> 33.3% (得点: 1/満点: 3)
System (システム)	項目3 <改善促進の制度化> 14.3% (得点: 1/満点: 7)
	項目4 <改善促進のルール化> 33.3% (得点: 1/満点: 3)
Action (アクション)	項目5 <意識改善> 25.0% (得点: 1/満点: 4)
	項目6 <情報提供・相談> 50.0% (得点: 1/満点: 2)
Check (チェック)	項目7 <仕事の進め方改善> 12.5% (得点: 1/満点: 8)
	項目8 <実態把握> 0.0% (得点: 0/満点: 2)

### タイプ診断・取組提案

自社の働き方・休み方改善の実施状況を踏まえて、働き方・休み方のタイプ分類が示されます。自社がどのタイプに分類されるかチェックしてみましょう。

該当するタイプを参考にしながら、診断結果に基づいて企業として優先的に行うべき取組提案が示されますので、自社の課題や取組内容を分析・検討する際の参考としてください。

〈タイプ診断 表示例〉

#### 7つのタイプ分類

- 働き方・休み方ともに課題あり
- 労働時間の長さに課題あり
- 年次有給休暇の取得に課題あり
- メリハリある働き方・休み方に課題あり
- 柔軟な働き方に課題あり
- 時間制約のある社員の働き方に課題あり
- 働き方・休み方ともに課題が少ない

+

**タイプ診断等に基づいた優先すべき取組の提案**

貴社のタイプ分類



タイプ②

労働時間の長さに課題あり  
【1】が平均未満のタイプ

## 2. 社員向け診断

社員自身の働き方・休み方について確認ができます。  
また、「働き方・休み方改善指標」を活用して、特定の部署の社員の働き方・休み方に関する認識や実態、職場の状況をチェックすることもできます。  
「社員向け」は社員の方が入力することを想定しています。

働き方・休み方に関する設問（42問）に回答

レーダーチャート  
(データ等による現状把握)

チェックリスト  
(仕組みや取組の有無)

工夫ポイント

### 〈工夫ポイントの表示例〉

あなたのチェックリストの結果をもとに提案された「工夫ポイント」は、以下のとおりです。こちらの内容を参考にしながら、ご自身の働き方・休み方の改善に向けて、今後取り組む内容を検討してください。

**該当項目** 「項目1」方針・目標の明確化、「項目2」改善推進の体制づくり、「項目3」改善促進の制度化、「項目4」改善促進のルール化、「項目8」実態把握

① 長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進に関して、会社の方針や目標が表明されていないかどうか、確認しましょう。

② 会社として取り組んでいない場合でも、個人や職場単位で取り組めることはいろいろとあります。他社で取り組まれていることなどを参考にしながら、自身の働き方・休み方を改善することに興味を持つことも大切です。

## 自己診断ページにはこんな機能もあります

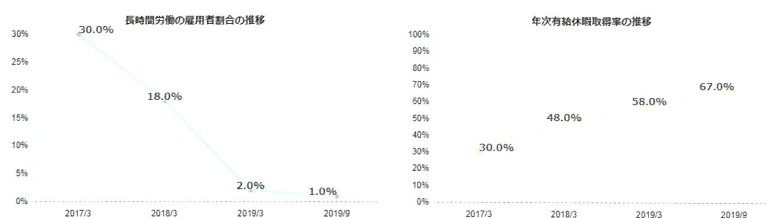
ユーザー登録をすることで、次の機能を活用することができます。  
企業向け自己診断を進めていただくと、診断結果の終わりにユーザー登録の入口があります。登録していただくと、次回からは、サイトのトップ画面の「ユーザー登録をされている方はこちら」ボタンから自己診断を利用できます。

### 1. 診断結果の経年変化を見ることができます

ユーザー登録をすると、いつでも過去の自己診断結果を閲覧したり、過去との比較を行ったりすることができます。また、複数の自己診断結果を蓄積し、経年変化を見することもできます。  
※ユーザー登録された内容や保存された診断結果を使って、厚労省から指導が入ることは一切ございませんのでご安心ください。

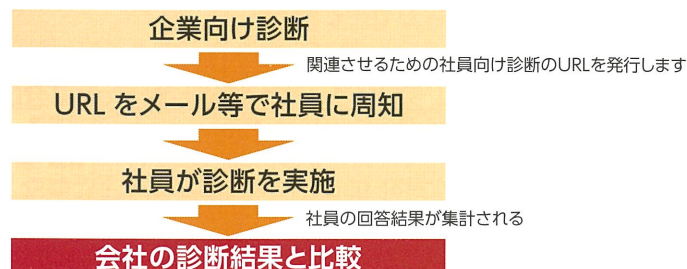
#### 〈ユーザー登録した場合の過去との比較 表示例〉

「長時間労働の雇用者割合」の推移、「年次有給休暇取得率」の推移

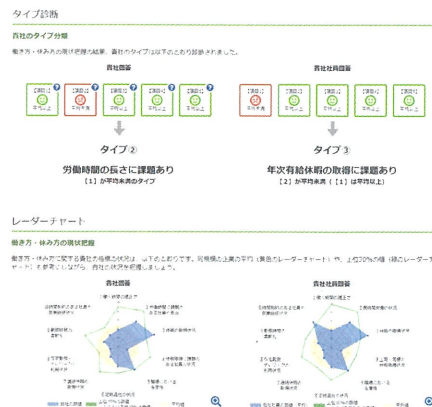


### 2. 企業向け診断結果と社員向け診断結果を突合、比較できます

企業向け診断を実施した後に、社員向け診断の実施をすることで、双方の結果（社員の認識や実態、職場の状況等）を比較することができます。認識に違いがあるか、ある場合にはどの項目において齟齬があるのかチェックしてみましょう。

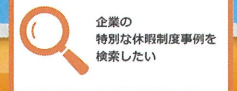


#### 〈比較結果 表示例〉



おすすめコンテンツ ①

# 企業の取組事例を検索できます



働き方改革に取り組んでいる企業の事例について、業種別、規模別で検索したり、キーワード検索ができます。厚生労働省が収集した先進事例、働き方等の課題分析から提案を行い、その後の取組状況までを示した事例等、多様な事例を紹介しています。自社の働き方・休み方改革の取組の参考にご活用ください。

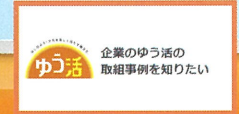
**【働き方改革に取り組んでいる事例検索画面】**

**【働き方改革取組事例】**

**【特別な休暇制度の事例検索画面】**

おすすめコンテンツ ②

# ゆう活事例を見ることが出来ます



「朝型勤務」や「フレックスタイム制」の推進などに積極的に取り組んでいる企業を紹介しています。ゆう活の取組の参考としてご覧ください。

**ゆう活取組事例**

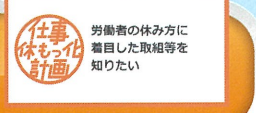
「朝型勤務」や「フレックスタイム制」の推進などに積極的に取り組んでいる企業をご紹介します。ゆう活の取組の参考としてご覧ください。

ゆう活取組事例一覧

業種	企業名	従業員規模	ゆう活の取組
卸売業・小売業	株式会社島田百貨店 PDF icon HTML icon	社員数1000人以上の企業	
卸売業	日本たばこ産業株式会社 PDF icon HTML icon	社員数1000人以上の企業	
製造業	アサヒグループホールディングス株式会社 PDF icon HTML icon	社員数100人~999人の企業	

その他 おすすめコンテンツ

## 労働者の休み方等について



労働者の休み方等についてまとめていますので、自社の取組の参考としてご覧ください。

**労働者の休み方等について**

労働者の休み方等についてまとめていますので、自社の取組の参考としてご覧ください。

労働者の休み方に関する課題と提案

「働き方・休み方改善ガイド」には、平成26年度から平成28年度の3年間に、働き方・休み方に関する「課題」とその解決策（提案）について整理した事例が51件掲載されています（平成30年9月現在）。

- 企業としての方針・目標の明確化に関する悩み
- 改革を推進する体制づくりに関する悩み
- 改革を支援する制度が適切かどうかに関する悩み
- 年次有給休暇取得を促進するルールが適切かどうかに関する悩み
- 情報提供に関する悩み
- 労務管理に関する悩み

キッズウィークについて

キッズウィークとは

「キッズウィーク」は、地域ごとに子供の誕生日から平成26年度までの長期休暇日を分散化することで、大人と子どもが一緒に過ごす時間を創出しやすくなるための取組で、平成30年度から始まりました。

キッズウィークの推進は、働き方改革と密接に関係しています。働き方改革では、労働時間や勤務形態の改善を通じて、働く人の子どもの学校休業日や地域のイベント等に合わせた柔軟な休暇取得を促進し、働き方改革を促しています。

**制度・支援策**

働き方・休み方改革を進めるための支援策（働き方・休み方改善コンサルタント、助成金等）について知ることができます。

**シンポジウム・セミナー情報**

働き方・休み方改革に関するシンポジウム・セミナーの最新情報を知ることができます。

**事例集やパンフレット**

働き方・休み方に関する広報媒体やアンケート調査結果等を掲載しています。

★サイト内検索や、スマートフォンにも対応しています。今後も、働き方・休み方の改善に関するコンテンツを追加する予定です。